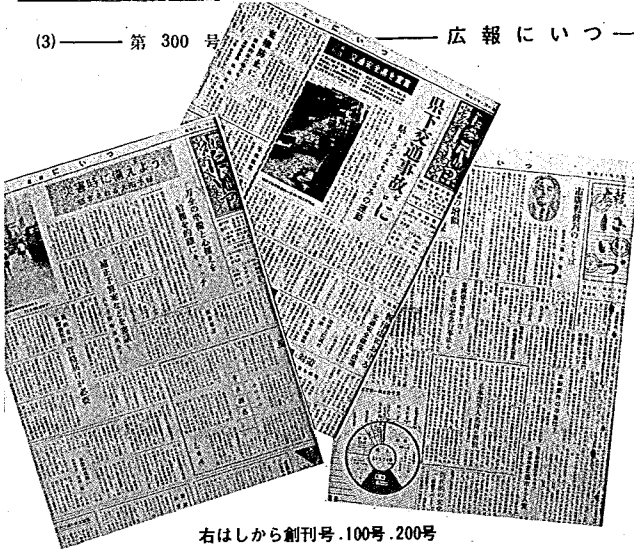




右はしから創刊号・100号・200号

市政とあなたの

「広報にいつ」が市

広報のあゆみは 市勢のあゆみ

「広報にいつ」は、市勢史をつづっています。二十八年の創刊以来、紙上でみる主なできごとをひらいてみました。

二十八年九月以降、小中学校校舎の改築・整備が年次計画にそって進められる。

二十九年、新津市警察署が県警察に一元化。日宝町東保育所が開所。

(三十年) 金津村、小合

「パイ役」になれ

勢史つづって300号

広報 二十八年に創刊号

三年前から月一回発行に

新津市は、昭和二十六年一月に市制をききました。その二年あとの二十八年九月、広報にいつは、タブロイド版というワラ紙大のスタイルでウブ声をあげました。

「明朗な市政を建設するために、市役所の行っている仕事をできるだけ市民に公開し自由な批判を求め、市民の世論を卒直に市政に反映させていきたい念願から」と、当時の故津田市長は、発行のよ

「広報にいつ」が、今回の号でちょうど三〇〇号。第一号は、人口三万八千七百一十一人、世帯数七千九百九十九戸という、ちやなま「で」形容されるときのことでした。

発行以来の「広報にいつ」は、市民と市役所のかけはしになって、市民のみならずが市政へ参加する意識のめざめに大きな力となりました。それも市議会の動きとともに、今号で迎えた満二十二年の三〇〇号というわけでは、三〇〇号は、「広報にいつ」の内容から、いくつかをひもといてみました。

ご存知? 変わった題字

広報紙にかぎらずいろんな刊行物には、タイトル(題字)が入っています。

お気づきのことがあったでしょうか。広報にいつは、このタイトルバックなどが少しづつ変わりました。



創刊時のタイトルです。その年の十二月発行まで四回使われました。バックには、三

つの市章と横ケイでアクセントがつけられました。



二十九年一月から六月までの六回使われました。

バックは、左側に雪の結晶と桜の模様、右半分には、国鉄・石油のまを象徴するレールにヤグロ、そして秋葉山の松、温泉郷のマーク、穀倉基地としての米の字などをあしらひ、新津市のシンボルを集めて図案化されたものでした。またウスイ地のアミ目も

図案を浮きたせ、題字を強調

く印象づけています。



二十九年七月から四十四年十二月までの長い間使われました。

おわかりですか。よくみてください。前に使われたものと同じですが、地模様のアミ目が黒くなり、文字は反対に白くなりました。



四十五年一月から四十七年三月まで、つまり今の広報の

かたちに切り変わるまで使われました。地模様はそのまま、ただ「広報にいつ」という文字だけが、こんどは白色から黒色に変わりました。

今のタイトルです。これは普通道町二丁目の高橋秀造氏の作によるものです。

バックの二本の線?そう、線路です。レールは二本が協力しています。二本の柱(市民と市政)で市勢発展の願いがこめられています。



七年からは二十五日とそれぞれ変わりましたが、このほかには特集号も発行し、毎月欠かさず市内全部の家庭に届けられました。

昭和四十三年、広告収入による紙面充実とより広報紙への市民参加を求めて、紙面の各下段に広告が入れられることになり、かたくなりながら紙面にめぐりと親しみが加えられました。

昭和四十七年四月、月一回の発行が続けられてきた広報は、こんどは一日、十五日の月二回発行に変わりました。と同時に、「見やすく、読みやすく、保存しやすく」というねらいから、タブロイド版

お買物、ご用命は市内で

—サラリーローン—
外に大口も歓迎致します ただし1口50万円以上です
三恵商事新津出張所
大 橋
電話 3-0358番へ是非御相談下さい
新町1丁目◎自転車店の直ぐ後ろ

Nikon F2 Photomic
ニコンカメラ販売店
カメラのサングス
本店 新津市本町4丁目5-6 TEL (代) (2) 0045
新町店 新津市新町1丁目2-29 TEL (2) 2484

(三十七年) 八珍柿の原木が県の天然記念物に指定される。市役所の機構が改められ窓口事務が一本化される。

(三十八年) 二・五メートルという豪雪に泣く。市役所庁舎、市営野球場、し原処理場、二小体育館、畜産センターなどが相次ぎ完成する。

(三十九年) 母子健康センター開所。十九回新潟国体で一般・高校ボクシングと高校軟式野球の会場となる(新津高が軟式野球で優勝)。市ほう賞条例で。

(四十年) 交通安全市を宣言。ちえ連れ、心身障児の日曜保育が中央保育所で開設される。都市下水路事業が開始。

(四十一年) 小合西小と南小の統合校舎—小合小が竣工。市之瀬の峰の果樹舎も完成。七・一七水害で低地帯が全滅。

(四十二年) ダイヤル式電話が開通。八・二八水害は下越一帯を襲い、市全域でも浸水。秋葉山一帯が県鳥獣保護区に指定される。

(四十三年) ゴミ焼却新炉(三十トン炉)と消防庁舎が完成する。

(四十四年) 一中・金津小学校舎と、小合中屋内運動場改築工事が完成。満願寺浄水場(管理本館など)が竣工。

(四十五年) 明学院(七日町)境内の大カエデが県の天然記念物に指定される。市道舗装五か年計画に着手。八十歳以上の医療費が無料に。

(四十六年) 医療費扶助は七十七歳以上に。畜産センターが古田地内へ移転。印かん手帳の交付と登録切替え実施される。ハシゴ付き消防車が配置される。

(四十七年) 医療費扶助は七十五歳以上に。新津市総合開発審議委員会が発足。公共下水道事業始まる。松坂市内流しが三年振りに復活する。

(四十八年) 医療費扶助は七十歳以上に。市総合開発計画基本構想決まる。新津地城土地開発公社が設立。市民会館が完成する。

(四十九年) 市道舗装五か年計画を四か年で終わらせ、入福祉センター、給食センター、ゴミ焼却新炉、市営住宅と第一、第二保育所の建替え改築が完成する。

お買物、ご用命は市内で

表具 一心堂
鈴木一心堂
一級技能士 法定防火壁装工事店
訓練指導員 建設業登録店
本町3-2-2035

木目込人形 作り方 教えます
◎ (一流メーカー直結製作所です)
他より安く人形は買えます
▲ ゴテンマリケース 15%引き
人形製作の杉並
新町3 TEL (2) 1216